

小浜市口名田地区 - ため池・山ぎわの水田・水路 -



山ぎわの水田



水草の豊富なため池

選 定 理 由 ・県レッドデータブック掲載種（県RDB種）が多種確認されている

県レッドデータブック掲載種数： 17種（面積約50ha）

自然の概要

南川右岸沿いに存在する小規模な谷には、ため池やため池跡地が点在し、ミズキキノシタ、ジュンサイなどの水生植物が生育しています。これらのため池から流れる小川にはグンバイトンボが生息し、山ぎわの水田や休耕田にはミズネコノオなどの湿性植物が生育しています。

保全すべき主な環境

ため池、山田（山ぎわの水田および休耕田）、小川（山ぎわの水路）

該当地の位置



里の生き物紹介 ミズネコノオ（シソ科）

水田や湿地に生える草で、8～10月にかけて桃色の花を咲かせます。水田では、稲が刈り取られた後に、花を咲かせている姿を見かけます。花が猫の尾のように細長くつくことが特徴で、この姿から水猫尾と名付けられています。

国内では本州から九州にかけて分布していますが、県内では、生育地は数か所に限られており、湿った水田や河川周辺の水田などに見られます。

ミズネコノオは本来、7月ごろに芽を出し、9月ごろには30cm程度まで成長しますが、除草剤の影響や、刈り取り時にコンバインに踏まれるためか、水田で見つかる個体は高さが10cm前後の小さなものが多いようです。

保全すべき環境に生息・生育している生物



ミズネコノオ
県域絶滅危惧 類
水田や低湿地に生育



グンバイトンボ
県域絶滅危惧 類
水草の多い清流に生息



ミズキキノシタ
県域絶滅危惧 類
池沼、ため池、河川、水路に生育



ジュンサイ
県域準絶滅危惧
腐食栄養または貧～中栄養の湖沼やため池に生育



キトンボ
要注目
平地や丘陵地の樹林に囲まれた池沼に生息